

日本体育大学図書館における スポーツ史資料の利活用

日本体育大学図書館課 宮原柔太郎
miyahara@nittai.ac.jp

数字で見る日本体育大学図書館



図書館数



学外来館者数



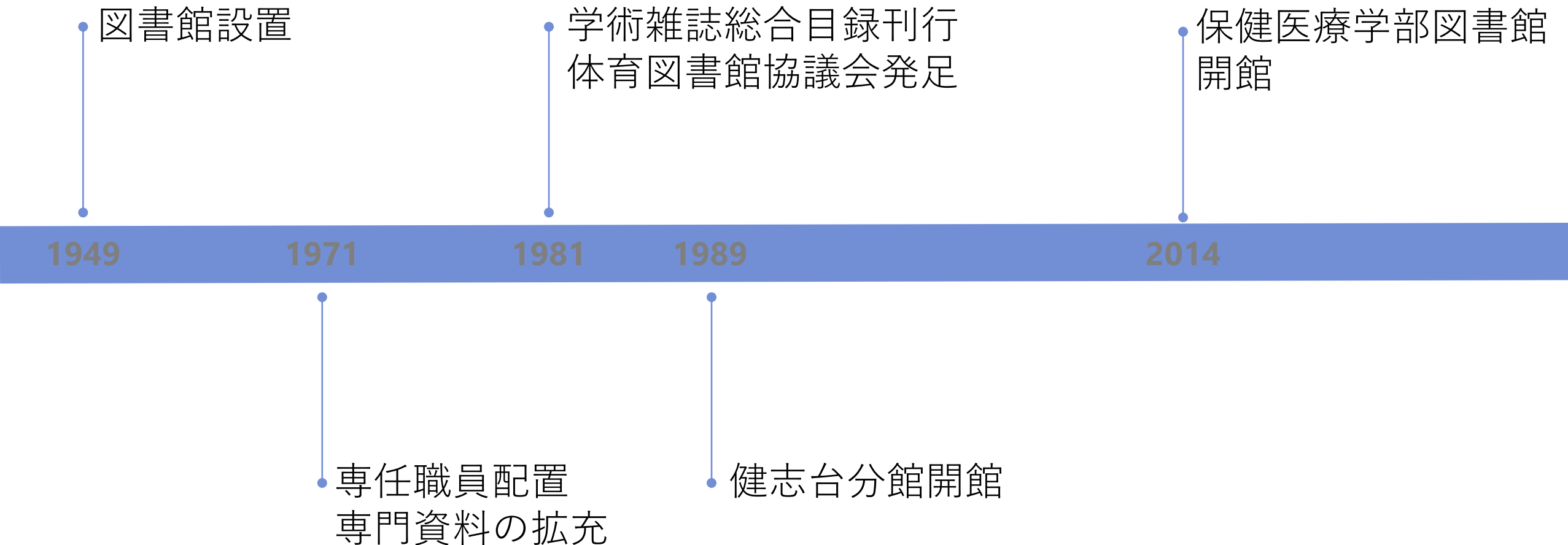
蔵書数



雑誌数

2020年度末現在（学外来館者数を除く）

日本体育大学図書館の歩み



収集 + 目録化 ÷ 利活用

スポーツ史資料の収集

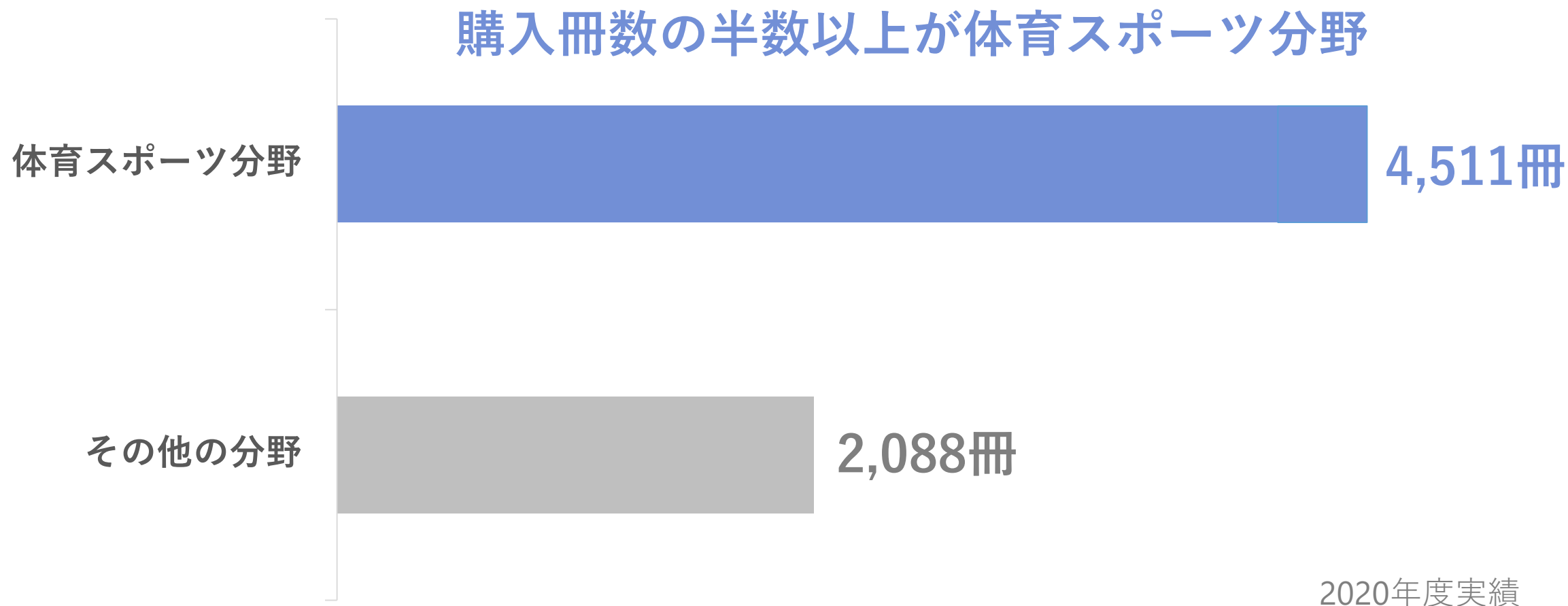
①資料収集の基本方針

体育・スポーツ分野の特色ある専門的蔵書群が、大学図書館として社会的に高評価を受けていることから、体育・スポーツ分野資料については、媒体に関わらず網羅的に収集する。

「日本体育大学 資料収集、保存・除籍の基本方針」

スポーツ史資料の収集

②購入冊数から見た特徴



スポーツ史資料の収集

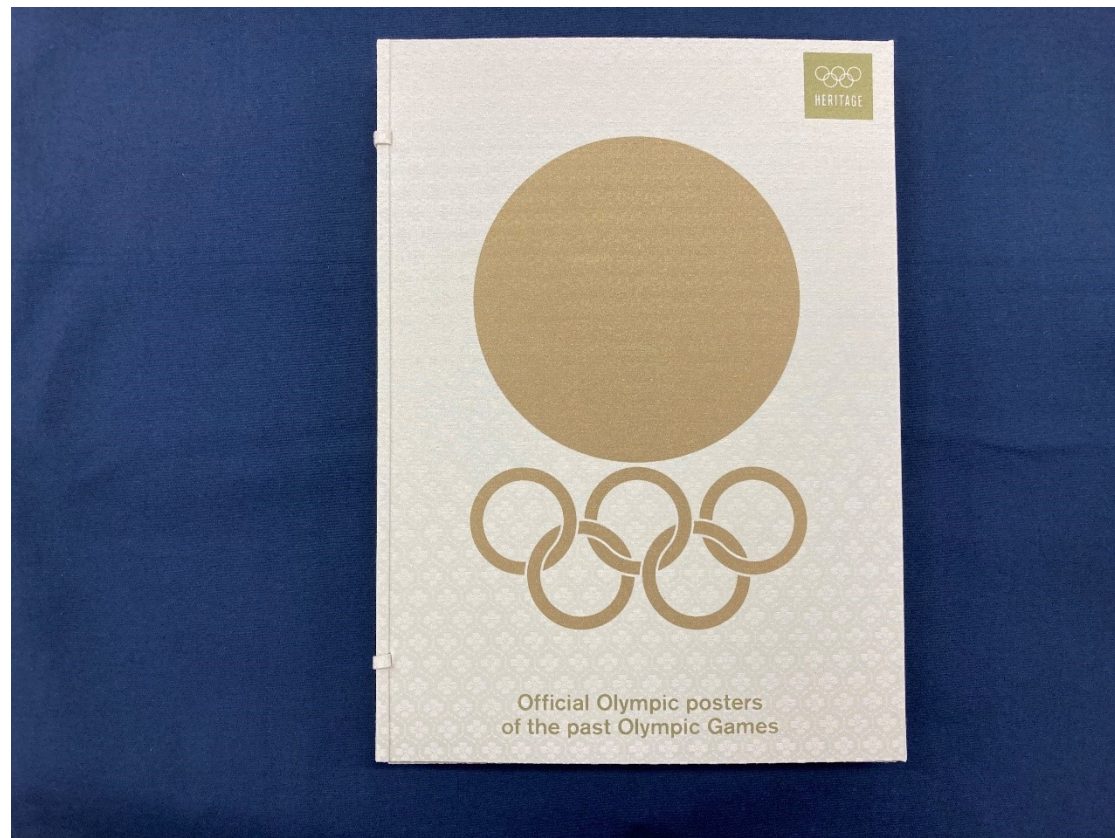
③特色あるコレクション

- 岸野雄三文庫（体育スポーツ史）
- 高橋健夫文庫（スポーツ教育）
- 民和文庫（武道）
- 南崎昌彦野球文庫（野球）
- 木下秀明文庫（体育スポーツ史）

スポーツ史資料の収集

④東京2020オリンピック・パラリンピック

- 公式プログラム・関連図書の購入
- 大会期間中の新聞紙11紙の保存（一部、号外も含む）
- グッズ類の収集（応援グッズ、大会使用球など）



東京2020オリンピック・パラリンピック関連資料（一部）



端物印刷（プリンテッド・エフェメラ）の収集

スポーツ史資料の目録化

①冊子体目録の作成

- 『日本体育大学図書館所蔵特別図書目録』（1987）
- 『日本体育大学図書館所蔵稀覯書目録』（2000）
- 『岸野雄三文庫目録 和図書編』（2003）
- 『日本体育図書館協議会雑誌目録』（1985-）*

*日本体育大学図書館が代表幹事館を務める日本体育図書館協議会としての事業

スポーツ史資料の目録化

②目録所在情報のオンライン化

- 1990年から共同分担目録方式の総合目録データベース
NACSIS-CATに参加
- 日体大図書館が登録した書誌情報はCiNii Books、図書館間の相互貸借でも活用されている
- 2020年度末までの累積登録件数は103,721件（全国21位）

スポーツ史資料の目録化

③国文学研究資料館 歴史的典籍NW事業への協力



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館 National Institute of Japanese Literature

日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画（略称：歴史的典籍NW事業）JP / EN

menu



国文学研究資料館では、国際的な共同研究ネットワークの構築に向けた歴史的典籍NW事業に、平成26年度から取り組んでいます。
令和3年3月末現在で、歴史的典籍18万7千点、コマ数では2100万コマを撮影しました。
今後、毎年3万8千点の撮影を進め、30万点の画像公開を目指します。

現在、当事業センターは在宅勤務を推奨しており、電話での対応が難しくなっております。
可能な限りメール（cijinfo@nijl.ac.jp）でのお問い合わせをお願いいたします。

お知らせ



日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画

<https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>

日本体育大学図書館 画像一覧 / Nippon Sport Science University Library List

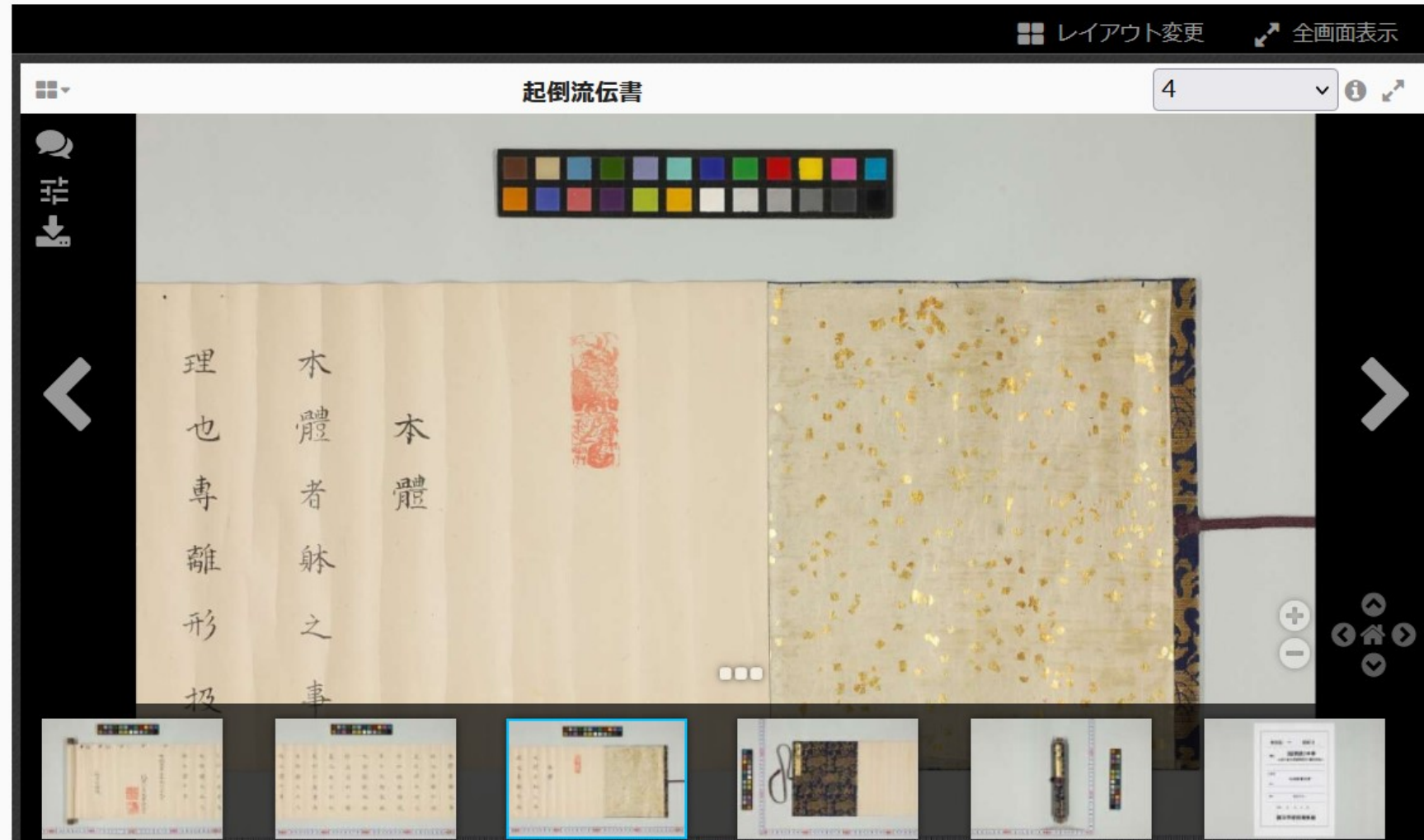
件数/Number of Works :289

BID	書名/Title	よみ/Kana	デジタル請求記号 Image Call No.	画像 文庫名等 Image Collection
100344557	浅賀流居合伝書	あさがりゅういあいでんしょ	D I G N S S U 0 0 0 7 1	表示 View
100344487	浅山一伝流柔術目録	あさやまいちでんりゅうじゅつじゅつもくろく	D I G N S S U 0 0 0 0 1	表示 View
100344558	荒木当流抜刀之術目録	あらきとうりゅうばっとうのじゅつもくろく	D I G N S S U 0 0 0 7 2	表示 View
100344489	荒木流捕手小具足并縄	あらきりゅうとりてこぐそくならびになわ	D I G N S S U 0 0 0 0 3	表示 View
100344488	荒木流捕手序	あらきりゅうとりてじょ	D I G N S S U 0 0 0 0 2	表示 View
100344490	荒木流免状	あらきりゅうめんじょう	D I G N S S U 0 0 0 0 4	表示 View

国文学研究資料館 新日本古典籍総合データベース 日本体育大学画像一覧

<https://kotenseki.nijl.ac.jp/page/list-nssu.html>

本體 (ほんたい)



本體

【目次】

【簡易書誌】 [書誌詳細](#)

書誌ID : 100344497

DOI : 10.20730/100344497

刊写 : 写

冊数 : 1軸

コレクション :

日本体育大学図書館 民和文庫

分類 : 柔術

ライセンス

[All Rights Reserved](#)

[画像の利用条件はコレクションごとに異なります。詳しくは利用条件のページをご覧ください。](#)

複数画像をレイアウトして表示している場合は、元の画像のライセンスのみが表示され、後から表示した画像のライセンスは表示されません。ご注意ください。

<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100344497/viewer/4>

大学図書館の立場から感じる課題

スポーツ史資料の多様性

- 紙資料（図書、文書類、ポスター、端物印刷・・・）
- モノ資料（スポーツ用品、メダル、写真、映像・・・）

学内に散在した資料

- 各研究室、研究所が独自の入手経緯や利用目的で資料を所蔵
- 貴重な”資料”として認識していないケースも

スポーツ史資料の利活用に向けて

①所蔵資料のオープン化

- 知る人ぞ知る資料

- 学術書・論文内での言及
- 研究者ネットワーク内での共有
- 所蔵者のみが価値・存在を認識
- 独自データベースでの公開



- 多くの人々に開かれた資料

- インターネット上での所蔵情報の公開
- 他分野研究者・市民からのアクセス
- 所蔵資料の一般公開

- デジタルアーカイブの構築

スポーツ史資料の利活用に向けて

②教職協働の実施

- 同じ組織に「資料を利用する研究者」と「資料を整理する図書館職員」が所属しているのは、大学の強み
- 埋もれた資料に歴史的な価値を見いだす研究者ならではの視点をいかに取り込めるか

まとめ

- 大学図書館は資料の収集と目録化で、スポーツ史資料の”情報のハブ”になっていくべきなのではないか
- 利活用を考える上で、スポーツ史資料を使う利用者の視点は重要。図書館単独ではなく、研究者との連携が必要